

東又小学校

学校だより

令和2年 6月1日(月)

No. 13

東又小 校長 中越あかね

Tel : 0880-24-0006

今日から6月になりました。四国も梅雨に入り、これから少しずつ雨の日が多くなると思います。2日に5年生がどろんこ遊びをしたら、8日には4年～6年が田植えをする予定です。8日にはプール開きも予定しているので天気になってくれるといいですね。

ALT (ケイトリン・スコット先生) が来てくれます

ALT のコンスタンスがアメリカに帰ることとなり、5月19日で終了した代わりに、町の他の ALT が月に何回か来てくれることになりました。名前はケイトリン・スコット (アメリカ) です。

早速1日目の5月28日は、1・3・4・5・6年生の授業に入ってくれました。まずはケイトリン先生と仲良くなるために、自己紹介したり先生にいろいろな質問をしました。ケイトリン先生の生まれた町や大学、好きな動物や食べ物などを習いました。ユタ州の中の小さな町だそうです。建物などはとても素敵でした。夏は39度くらいになり、冬はマイナス15度くらいになることもあるそうです。温度差が凄いですね。日本と同じようにアメリカにも四季があり、紅葉が綺麗なことも分かりました。早く先生と仲良くなれるといいですね。

2学期に他の ALT が四万十町に来てくれる時までは、ケイトリン先生は6校の授業に回ってくれます。先生が来てくれた時には、5・6年生はケイトリン先生と齋藤先生が教えてくださり、1年～4年生は担任の先生とケイトリン先生と一緒に教えてくださいます。楽しみです。



習字教室 吉岡康雄先生に来てもらったよ

6月1日に、今年も吉岡先生に来て頂き、3年生と4年生が習字を習いました。

3年生は先日から書いている「日」という字を習いました。最初に、いろいろな「日」という字を持ってきてくれていて、その中のどの字がいい字なのかをみんなで考え、どこを直したらいい字になるのかを考えました。「横棒の線が太すぎる」「上の空間と、下の空間の大きさが違う」「下になるにつれて広がっている」など、黒板に貼られた字を見ながら子どもたちが意見を言いました。子どもたちが気付いた点について気をつけながら書くと、いい字が書けることに気が付きました。その後、いよいよ書き始めです。

筆を立てて書くのがなかなか難しく、書くたびに「筆を立てて」と言われながら書いている人もいましたが、最後には少しずつ筆を立てて書けるようになってきていました。みんな気をつけながら書いたので、教室の後ろに貼っていた先週書いた「日」より、随分上手な字が書けましたよ。筆を立てて書くことを忘れずにね。



この字はどこを直したらいい字になるかな？

4年生は、昨年度も吉岡先生に3回教えに来て頂いているので、筆を立てて書くということはできている人が多かったです。この日の最初は、とても難しい「の」という字に挑戦でした。「の」は、筆の運びがとても難しく、手首をくねくねとしながら書いてしまう人が多かったですが、2時間の最後には手首をなるべく動かさないようにして書けるようになってきていました。簡単に見える字ほど難しいですね。

角度や長さなどを丁寧に習いながら1画ずつ書いていきました。授業の最初に確認した「よく聞く」を守れた人は、先生の言う「ここまで書いて」を守れて、ゆっくり丁寧に書けていました。その後、「山里」も習い、最後は「山里の」と書き、清書をしました。最初に練習した「の」も上手に書けましたよ。習ったことを覚えておこうね。

